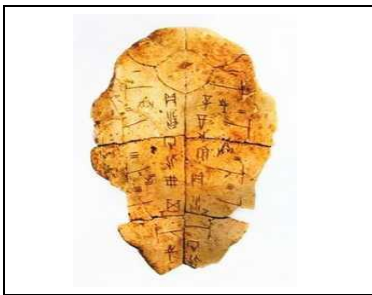


【図版を使った問題】（難易度：やや難）

中国の古典文明に関する王朝・時代に関する図版と文章を参照して、後の問いに答えなさい。

A



図版の甲骨文字は、殷墟などから出土した^{せんぼく}占卜用の亀甲や獣骨に刻まれた文字であり、漢字のもとになった。1899年の発見以来、文字の解読がすすんだ。20世紀には殷墟の発掘により、殷王朝が前[]年紀に実在したことが証明され、その(A) 政治・経済・社会が明らかになった。

B



図版に見られるように、中国では[]の農具が春秋時代の末期に出現した。殷に続き成立した王朝である周は、その前半を西周、後半を東周に分けられる。また、東周の前半を春秋時代、後半を戦国時代とよび、政治史・経済史・文化史における大きな転換期であった。

C



図版の実物大の兵士と馬をかたどった陶製の^{ひとがた}人形は、秦の都である[]の東にある始皇帝の墓を守るため配置されている。前221年に中国を統一した始皇帝は、法家思想に基づき中央集権化を確立するために、(C) 政治・軍事、経済、思想の各分野において様々な政策を行った。

D



図版は匈奴の兵士を踏みつけている漢の軍馬である。元来、モンゴル高原にあった匈奴は、前3世紀末に[]が全盛期を築き、前200年には前漢の高祖に勝利した。しかし、前漢(D) 武帝の攻撃と前1世紀以降の内紛による分裂で衰退した。

E



図版の金印は、『後漢書』東夷伝倭人条によれば、57年、倭の奴国の王が後漢の[]に朝貢し、授けられたものであるという。(E) 後漢赤眉の乱に乗じて挙兵した劉秀が建国した王朝であり、豪族連合政権的な性格を持つ王朝であった。2世紀前半までは国力が充実し、匈奴や西域諸国も服属していたが、その後、宦官、外戚により政治が活れた。

問1 上のA～Eの文章の に適する語句を選び、記号で答えなさい。

- A ア 千 イ 2千 ウ 3千 エ 4千
B ア 打製石器 イ 磨製石器 ウ 青銅製 エ 鉄製
C ア 鎬京 イ 咸陽 ウ 洛陽 エ 長安
D ア 項羽 イ 張騫 ウ 冒頓単于 エ 王莽
E ア 蔡倫 イ 光武帝 ウ 和帝 エ 蘇秦

問2 上のA～Eの下線部について答えなさい。

A 殷の政治に関する文のうち正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 神意を占う神権政治が行われていた。
イ 血縁集団内の規則である宗法に基づいた政治が行われた。
ウ 法による信賞必罰により統治した。
エ 郡県制と封建制を併用した郡国制を採用した。

B 春秋・戦国時代に関する文のうち誤っているものを選び、記号で答えなさい。

- ア 儒家に対抗して、墨家は無差別な愛を唱え、侵略戦争に反対した。
イ 交易の発達に伴い、刀銭・布銭などの青銅貨幣が使用された。
ウ 戦国時代に「尊王攘夷」を掲げ、同盟を指導した諸侯を覇者という。
エ 戦国の七雄の一つである燕は、現在の北京周辺を支配した。

C 秦に関する文のうち誤っているものを選び、記号で答えなさい。

- ア 周の政治を理想とした急激な改革を行い、社会を混乱させた。
イ 統一貨幣として、半両銭を鑄造した。
ウ 焚書・坑儒による思想統制を行った。
エ 匈奴を討伐し北方に食いやり、長城を修築した。

D 武帝に関する文のうち誤っているものを選び、記号で答えなさい。

- ア 塩・鉄・酒を専売制にした。
イ 郷举里選という官吏登用法を創設した。
ウ 董仲舒の献策により儒教を統治理念に採用した。
エ 大月氏と同盟するために班超を派遣した。

E 後漢に関する文のうち正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 卿・大夫・士という家臣団に封土が与えられた。
イ 陳勝・呉広の乱をきっかけに各地に反乱が広がった。
ウ 呉楚七国の乱以降、実質的には郡県制になった。
エ 党錮の禁により儒学者が弾圧された。

解答

	A	B	C	D	E
問1	イ	エ	イ	ウ	イ
問2	ア	ウ	ア	エ	エ

問1 各1点。問2 各2点。